

PBLって難しいんでしょ？

「探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業」指定校  
江田島市立能美中学校学区の授業づくりと実践

はい。難しいですが、  
子供は変わりますよ。  
あ、教師も地域もね。

# 児童生徒の探究的な学びが生まれる授業の創造

～小中9年間を見通した生活科・総合的な学習の時間の在り方～

## ステップ1

とりあえず  
まずは、何から  
始めたらいい？

### 【子供にどのような力を つけたいか明確に】

まずは一同に会して  
育てたい資質・能力の設定や  
単元の目標を設定して  
子供の学びの姿を思い描こう！

教師のベクトルが一致！



## ステップ2

PBLの児童生徒  
主体で課題発見なん  
て難しいでしょ？

### 【体験から学ぶ仕掛けづくり】

「夢実現型」「提言型」「貢献型」  
どんな視点のテーマで単元づくりを  
したいかを明確にして、  
仕掛け(体験活動)を吟味しよう！

教師のゴールイメージは  
単元づくりでしておこう！



## ステップ3

ファシリテーターって  
いったいなに？！

### 【教師の役割はファシリテーター】

答えを用意したり誘導したりしては  
いけません。子供の思いを言語化させ  
てストーリーづくりで自分なりの  
ゴールイメージをもたせる！  
例：なぜそう思うの？ ほんと？  
どうしたらできそう？ どうしたい？  
それしたらどうなるの？

ストーリーづくりは  
論理的な思考の訓練です！



## ステップ4

PBLは「発信」が  
重要ななの？

### 【リアルな発信や実行の場を設定】

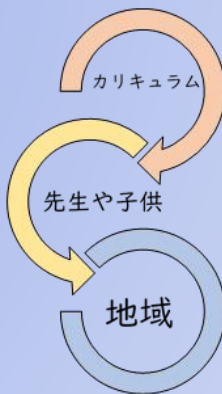
単なる学習発表ではありません。  
実際の社会の場で真剣勝負の  
発信の場を与えることで、子供たちは  
実社会とつながることができる！

「真剣勝負」で未来を切り拓く力となる！



研究主題を  
実践するための  
3つの「つなぐ」  
探究の旅が始まる！

探究の一人歩き！



【小中連携教育の目標】

ふるさとを愛し、ふるさに学び、ふるさに貢献する児童生徒の育成

#### ☆育てたい資質・能力と評価の共有

児童生徒の自分の学びを見る化！

#### ☆単元構想シートの活用

教師がチームでゴールイメージをもつ！

#### ☆校区の小・小・中の連携

校区全体会 校区クラスルーム

児童生徒の学びをつなぐ！

#### ☆地域と協働の促進

ゲストティーチャー 地域ボランティア

外部発信、外部評価でやる気スイッチON！



PBL(プロジェクト型学習)で児童生徒は変わる！  
そして、教師も地域も変わる！



# 「えたじまん さぐり隊」 ～えたじまん発見！☆江田島大好きプロジェクト～

2年生  
ぼくたち わたしたち  
わくわくたんけんたい

○江田島のこと、くわしく知っている人はだれかな？家の人や周りの人に聞いてみよう！

江田島市 産業部 交流観光課  
観光係の方からお話を聞きました！



Nsハッピートラベルのキャラクター  
「うみちゃん」ぼうしの上に えたじまん

【評価】  
知識・技能 ①②  
思考・判断・表現 ①②  
主体性 ①

学校行事「遠足」  
中町小わくわくオリエンテーリング

ICTの効果的な活用  
カメラ・クラスルーム・  
ジャムボード

くらべる・分ける・つなげる  
社会「まちのようす」「市のようす」

つなげる  
理科「動植物のせいちょう」

分ける・くらべる  
国語「情報 引用するとき」「お礼の手紙」

くらべる・つなげる  
道徳「花の気持ちになって」

【評価】  
知識・技能 ②  
思考・判断・表現 ②③  
主体性 ②

くらべる・つなげる  
国語「はじめて知ったことを知らせよう」「対話」

くらべる・つなげる  
道徳「わたしのいいところ」

課題設定①

## 第一次 ☆えたじまんのひみつをさぐろう（見て！聞いて！体験しよう）（22）

情報の収集

整理・分析

いちご 畑・田んぼ ナイビーロード 紙布 瀬戸ブルー シースピカ 海の生き物

**地域の人との出会い つながる**

江田島荘 中町海ツアー 能美島さつき太鼓

まとめ・表現

## ○えたじまん新聞を作ろう（作品応募）

振り返り

中国新聞 出前授業「新聞の書き方」講座

課題設定②

## 第二次 ☆えたじまんのひみつをもっとさぐろう！（25）

農家 長瀬海岸 船 津島織物 カキ さとうみ科学館 能美島さつき太鼓

育てた大豆ともち米のしゅうかき 中町小150周年 4年生と心をつなぐ「村祭り」

単元構想図を児童と教師で共有することで、単元を貫く問いがぶれることなく、ゴールに向かうことができる。児童の思いなど、加筆修正しながら、単元構想図を活用することで、教師も児童も見通しをもって進めることができる。目的意識や相手意識をはっきりさせながら、単元構想図にカリ・マネの視点を取り入れることで、効果的な学びが生まれ、時間を有効に使うことができる。これより下の単元構想図は、11月以降、新たに加筆・修正したもの（朱書き）吹き出しは児童の発言

## ○Ns 3 ハッピートラベル～ガイドになろう！～

全校 宮島ツアー プレゼン（朝会）

せとブルーに乗って宮島に行こう！

せとブルーは人にやさしい船

せとブルーは江田島カラー（青と白）

せとブルー えたじまんになんてい★★★

くらべる・つなげる  
国語「すがたをかえる大豆」

学級活動  
「楽しい社会見学」

くらべる・分ける・つなげる  
国語「はんで意見をまとめよう」

整理・分析

## ○えたじまん にん定会議をしよう 【本時 46/60】

川西農園みかん

あまい！おいしい！楽しい！

フィッシュボーンで考えたよ。 見学や体験をするとくわしく分かるよ。

宮島小3年生とオンラインで自己紹介

学校行事「社会見学」  
瀬戸ブルーに乗って、宮島に行こう

まとめ・表現

## ○えたじまんをする方法や内容を考えよう 全校児童 みやじまツアー

みかんと紙布のしおりをおみやげに持っていったよ。 江田島にもカキがあるね。

「みやじまん」と「えたじまん」もみじまんじゅうの会社は13社！

みやじまリン

【評価】  
知識・技能 ③  
思考・判断・表現 ④  
主体性 ③

課題設定③

## 第三次 ☆Ns 3 ハッピートラベルツアーに出かけよう！（10）

情報の収集

わくわく えたじまんツアー  
2月21日（水）予定

ツアーのしおりを作るよ 持って行く物は？

時間は？ 行くじゅんばんは？

整理・分析

①オリーブファクトリー → ②さとうみ科学館 → ③江田島荘ランチ → ④やながわ水産（カキ）

まとめ・表現

## ○えたじまんマップ（リーフレット）を作って、えたじまを広げよう

江田島市 産業部 交流観光課  
観光係の方に 自分たちの「えたじまん」を伝えたい！

家族に伝えたい！ 地域の人に伝えたい！

3年生最後の参観日 伝えようよ！！

家族 地域の人 中町小学校の先生や友達 江田島に来る人

くらべる・分ける・つなげる  
国語「つたわる言葉で表そう」

くらべる・分ける・つなげる  
国語「コンピュータのローマ字入力」

くらべる・分ける・つなげる  
国語「わたしたちの学校じまん」

振り返り

考えたことを他の学年に伝えたいな。お世話になった人に伝えたいな。

**えたじま大好き☆こんなにすてきなところ みんなおいでよ**

単元名

# Catch Your Dream!

「江田島人物図鑑」から、児童が魅力的だと思う人を探し、担任からアポ取り。全部で4名の方と、直接やり取りできました。

## Part1 「知る・分かる」 PROJECT① 『江田島の魅力再発見プロジェクト』

### 課題設定

○『江田島市統計資料』から、江田島市の現状と、地域が抱える課題を見つける。  
○江田島市の将来のために、「江田島市の魅力」を効果的に発信するための計画を立てる。

「このままでは故郷がなくなる!?!」という切迫感に焦点化。今の自分にできる『移住者促進』とは？

### 情報の収集

○「地域の人」と「移住者」にインタビューとアンケートを実施し、「江田島の魅力」を調べる。

「ふれあいサロン」と「藤三」に協力依頼。約200枚回収!

No.	住所	年齢	性別	職業	魅力	備考
1	江田島市	64	男	無職	海、自然、移住者への対応	移住者支援センター事務
2	江田島市	63	男	無職	海、自然、移住者への対応	移住者支援センター事務
3	江田島市	62	男	無職	海、自然、移住者への対応	移住者支援センター事務
4	江田島市	70	男	無職	海、自然、移住者への対応	移住者支援センター事務
5	江田島市	62	男	無職	海、自然、移住者への対応	移住者支援センター事務
6	江田島市	72	男	無職	海、自然、移住者への対応	移住者支援センター事務
7	江田島市	64	男	無職	海、自然、移住者への対応	移住者支援センター事務
8	江田島市	67	男	無職	海、自然、移住者への対応	移住者支援センター事務
9	江田島市	64	男	無職	海、自然、移住者への対応	移住者支援センター事務

### 整理・分析

○「地域の人」と「移住者」とで、感じている「江田島の魅力」の共通点や相違点を見つける。  
○江田島市の将来の発展につながる「江田島の魅力」があるかどうか分析する。

アンケート回答をエクセルにまとめ、「テキストマイニング」を使用して分析。(結果は右図)地域の方々は、「豊かな自然」と「人情味あふれる人」を『江田島の魅力』として捉えているようでした。

### まとめ・表現

○インタビューやアンケートの結果を「魅力発見ポスター」にまとめ、協力していただいた方々に周知する。



## Part2 「つなげる・深める」 PROJECT② 『江田島の魅力深掘りプロジェクト』

### 課題設定

○「江田島の魅力」の中で、江田島の将来の発展に向けて、『深掘り』した方がよい魅力を整理し、『深掘りプロジェクト』の計画を立てる。

地域の方が『江田島の魅力』だと思っている「自然」と「人」は、自分達が『移住者促進』のために伝えられる魅力になるのかな? ⇒ 自分事にするために体験活動を!

### 情報の収集

○「深掘り」する魅力の事前知識を出し合い、調べるべきことを考える。

○実際に体験したり、話を聞いたりすることで、「江田島の魅力」を自分事として捉える。

マリンスポーツ体験・陶芸体験(「10サング」のご協力)・自給自足生活体験(「おきらくや」のご協力)を実施。

### 整理・分析

○「江田島の魅力」について、『新たに気付いたこと』や『改めて魅力に感じたこと』を、『江田島に移住する(したい)人』に伝えるという視点で整理する。

KJ法やフィッシュボーン図を使用。話し合う中で、体験活動そのものの魅力以外に、『体験活動を経て気付く江田島の魅力』があることを知る子どもたち。

### まとめ・表現

○『江田島に移住する(したい)人』に向けて、「江田島の魅力」を**広報する資料**にまとめる。

伝える相手や目的を明確に。作りっぱなしにならないように、市役所の観光課や、「フウド(移住に関わる一般社団法人)」と連携しながら、発信に向けて準備を進める。

## Part3 「広げる・生かす」 PROJECT③ 『江田島の魅力発信プロジェクト』

### 課題設定

○「江田島の魅力」を効果的に発信するための計画を立てる。

### 情報の収集

○江田島市役所や、地域おこし協力隊の方々から、情報発信で必要になる事項をインタビューする。

年度当初に、教師が計画した流れではこの内容になるが、実際は少しずつ軌道修正しながらゴールに向けて動いている。ただ、「江田島の将来的な人口増加につながる活動をする」という目的と、「島内外に関わらず、出来るだけ多くの人に」という相手意識は変わることが無いように、事前に明確に示しておくことが大切。(教師側の教材研究は大いに重要になってくる。あとは、児童の興味関心に応じて臨機応変に…)

### 整理・分析

○江田島の将来の発展のために、どのような方法で、どのような相手に「江田島の魅力」を発信するか、インタビューで集めた情報を整理する。



マリンスポーツ体験

### まとめ・表現

○1年間の学習の成果を、より多くの人に発信する。  
○1年間の学習の成果を元に、自分と江田島の関わりについての変化や、自分自身の成長について振り返る。



陶芸体験

江田島市の将来のために、今の自分(たち)にできることは。

- 国語 「話し言葉と書き言葉」
- 社会 「わたしたちの生活と政治」
- 行事 「市議会アドベンチャー①」
- 社会 「願いを実現する政治」
- 国語 「私たちにできること」
- 国語 「みんなで楽しく過ごすために」
- 国語 「日本の文化を発信しよう」
- 国語 「人をひきつける表現」
- 算数 「資料の整理」
- 算数 「データの活用」
- 国語 「今、私は、ぼくは」
- 社会 「日本とつながりが深い国々」
- 外国語 「What do you want to be?」

単元のゴール

江田島市の人口減少に歯止めをかけるために、江田島市の魅力を発信し、移住者を増やす取組をする。



単元名

江田島の発展を目指して～自分たちにできる地域貢献とは？～

Part1 「知る・分かる」

PROJECT① 『地域に貢献～やってみようプロジェクト!』

課題設定

自己解決ではなく客観的で必然性のある課題発見!

○昨年度の「江田島の魅力を残したい企画」を振り返り、また『江田島市統計資料』やアンケート調査等から、江田島市の現状と、地域が抱える課題を見つける。

○江田島市の発展のために、自分たちにできる地域貢献をするための計画を立てる。



整理・分析

○様々な人の思いの共通点や相違点を整理し、江田島市の発展に繋がる地域貢献について、具体策を見つける。

○江田島市の将来の発展につながる地域貢献として、自分たちに実行できるかどうか分析する。

多くの人の思いを聞くことはできても、それは自分たちの力のできるものなのか?と、悩み迷走する姿もみられました。

情報の収集

江田島市のFacebook等これまでの人脈と発信方法を活用して、より多くの人の声を聞こうと奮闘!

○地域の現状と課題を捉えるために、住民、移住者、事業所、他地域の人々に幅広くインタビュー等を実施し、地域貢献の手がかりを調べる。



まとめ・表現

○自分たちにできると判断した地域貢献を計画し実行する。

まずは自分たちの思いを大事にし、2年間の学びを活かし、自分たちで計画し、外部とやり取りし、とにかく実行してみました!

江田島荘のお客様に島の魅力発信!



江田島市の将来のために、今の自分(たち)にできることは。

Part2 「つなげる・深める」

PROJECT② 『地域に貢献～リベンジプロジェクト!』

課題設定

○実行してみた地域貢献について、実際の貢献度を振り返り、良かった点や改善点を整理し、地域の方や団体等と協働した実現可能性のある地域貢献リベンジプロジェクトの計画を立てる。

PROJECT①の振り返りでは貢献度が低かったため、江田島市の発展をめざすための知見を深めるために、教師から「協働」のミッションを与えました。

情報の収集

自分たちで考えた貢献が、江田島市のどんな発展につながっていくのか、認識することができました。

○各グループで「環境・自然」「生き方・キャリア」「伝統・文化」「町づくり・福祉」の地域貢献のテーマを確認し、事前に準備すべきことを考える。

○協働したい地域の方や団体等の情報を収集し、コンタクトを取り貢献内容について協議、連携する。



3年間の集大成といえるくらいの活動の場の広がりや、たくさんの人との出会いがありました。

整理・分析

○協働したい地域の方や団体等と協議した内容を、実現可能性という視点で整理する。

協働したい団体等とのやり取りと並行し、整理・分析して計画立案に繋がっていきました。計画立案は、「地域貢献計画概要確認表(スプレッドシート)」に随時入力させて、教師4人と10班の生徒が常に共有できるようにしました。

地域貢献計画概要 確認表

班	地域貢献テーマ (どのような地域貢献をすることで、江田島のどのような発展につながるのか)	いつ	どこで どんなイベントで	だれと 協働者・協働事業所 (コラボレーションする方)
5班	パブリックスペースの整備を農家の方々に協働し、計画してもらう。	10月15日	MIKANマラソン	ミカンマラソンの運営の人
6班	フodのイベントの準備の手伝い 11月26日の農畜会に行く。	11月26日	ゆめタウン江田島 11月26日農畜会	江田島市役所職員 フodの後藤さんの方
7班	図書館の利用しやすい環境づくりと利用者を増やし、江田島市民に本に対する興味を高める。	11月4日 11月5日	能美図書館	図書館司書の方

ゆめタウン展示会場づくり



Part3 「広げる・生かす」

PROJECT③ 『これが自分たちにできる貢献だ!発信プロジェクト』

課題設定

○江田島市の発展のために、協働した方達の評価等を踏まえ、自分たちの地域貢献について、これまで関わった方々に効果的に発信するための計画を立てる。

公開研究会では、参加者にも評価をいただきながら、よりよい発信のための分析をすることができました。

整理・分析

○江田島市の発展のために、実行した地域貢献について、どのような方法で、どのような相手に発信するか「持続可能性」と「協働性」の観点で整理し、相互評価等で集めた情報を比較・分析する。



情報の収集

○江田島市の発展のために、各グループ同士で地域貢献内容や自己評価貢献度をプレゼンテーションし、相互評価したり協議したりして、発信に必要な事項を収集する。

まとめ・表現

○1年間の学習の成果を、関わってきた方達に発信する。  
○1年間の学習の成果をもとに、自分と江田島市との関わりについての変化や、自分自身の成長について振り返る。

3年間で関わった方々に生徒自らアポイントを取り、活動報告や自分たちの思いを語り合う会を開きました。



単元のゴール

江田島の発展を目指して、自分たちにできる地域貢献を実行する。

国語  
情報整理のレッスン

国語  
思考のレッスン

社会  
わたしたちの生活と現代社会(公民)

英語  
ディスカッション

国語  
説得力のある構成を考えよう(スピーチ)

道: C-(16)郷土の伝統と文化の尊重

国語  
多角的に分析して書こう

国: 三年間の歩みを振り返ろう

道: A-(5)真理の探究、創造